

茨城県近代美術館 平成 20 年度の企画展

4 月 19 日（土）～5 月 25 日（日）

開館 20 周年・美術館設立 60 年記念 所蔵作品選

175/3000 時を重ねて 3000 点。飛躍に向けての 175 選。

茨城県近代美術館は、今年開館 20 周年、また昨年には県立美術館として設立 60 年を迎えました。本展はそれを記念し、長い歴史をかけて所蔵された作品から選りすぐりの 175 点を、すべての展示室を用いて紹介します。開館以来これほどの規模で、当館の名品が一堂に展示されるのは初めてのこととなります。

6 月 7 日（土）～7 月 21 日（月・祝）

法外な絵画 奥谷博展

時空を超えた様々なイメージを、驚くほど鮮やかな色彩で描く独特な画風で、戦後洋画壇の代表作家として活躍を続けている奥谷博（1934 年生まれ）の回顧展。芸大受験に際し描いた「二十歳の自画像」から最新作にいたるまでの油彩画と素描により、約半世紀におよぶ画業の足跡をたどります。

8 月 2 日（土）～9 月 23 日（火・祝）

明治の洋画―解説から鑑賞へ―

明治の洋画は、当時の人々にどのように鑑賞されたのでしょうか。社会を描いた高橋由一の作品からは時代への共感が、自ら見出した”風景”を表現した黒田清輝の作品からは何らかの情感がもたらされたと考えられます。そして後者の鑑賞の在り方からは、近代的な観客の成立をみることができるでしょう。明治の洋画を通して、美術と観客の在り方を考えます。

10 月 4 日（土）～10 月 19 日（日） 茨城県芸術祭美術展覧会

茨城県、茨城県教育委員会、茨城文化団体連合等が主催する全県的な公募展です。日本画・洋画・彫刻・工芸美術・デザイン・（書・写真）各部門の入選作品を展示します。※（ ）の部門は県民文化センターで展示します。

11 月 1 日（月）～11 月 9 日（日） 第 23 回国民文化祭・いばらき 2008 美術展（洋画・彫刻）

第 23 回国民文化祭・いばらき 2008 美術展に全国より出品された作品から、洋画・彫刻部門の入選作品を展示します。開催に合わせて様々なイベントも開催します。

11 月 22 日（土）～1 月 25 日（日）

大ナポレオン展

偉大な英雄として知られるナポレオンは、政治や軍事のみならず、芸術や学問といった文化的側

面にも高い関心を寄せていました。本展は、海外でも有数のナポレオンの個人コレクションに東京富士美術館の所蔵品を加え、彼が生きた時代の絵画や彫刻をはじめ、ナポレオンゆかりの原稿や工芸品、またジュエリーなどを紹介します。

2月7日（土）～3月22日（日）

安田靉彦展

文学や歴史への深い造詣と、清新で典雅な作風によって、近代歴史画を確立した安田靉彦の回顧展。日本美術院において、大観の後の世代を担った画家の、初期から晩年までの代表作を展示して、その芸術の全貌を紹介します。

茨城県近代美術館 平成20年度の常設展

5月28日（水）～7月27日（日）

常設展1

茨城の作家と日本の近代美術1期

常設展2

木村武山杉戸絵展

7月30日（水）～9月23日（火・祝）

常設展1

茨城の作家と日本の近代美術2期

常設展2

二世 五姓田芳柳

10月1日（土）～12月14日（日）

常設展1

茨城の近代美術展

一近代茨城の美の精華

12月17日（水）～2月15日（日）

常設展1

茨城の作家と日本の近代美術3期

常設展2

ドーミエ版画展

2月18日（水）～4月12日（日）

常設展 1

茨城の作家と日本の近代美術 4 期

常設展 2

静物画展